

# 喜入校区社協だより

令和四年十一月発行 第三十五号  
発行 喜入校区社会福祉協議会

『会長あいさつ』 会長 福迫 正昭

校区の皆様には、地域の福祉向上活動活性化運動に積極的に参加して活動頂いていますことに対し、心から感謝を申し上げます。

新型コロナも発生以来三年目になっています。しかしながら、依然としてコロナ終息の兆しは見えません。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症拡大で普段の生活が抑制されていましたが、現在は各種行事・イベントの開催や収容人数等の制限が緩やかになり、人や車の往来はコロナ前に戻りつつあります。コロナウイルス感染症は、冬の季節到来でインフルエンザとの同時流行も危惧されています。

これら的心配に合わせて、健康リスクや事故リスクが高まっていますので各人がウイズコロナ対策に留意し、安心安全な生活を心掛けていきましょう。

## 『新南部清掃工場研修』

喜入校区社会福祉協議会

九月二十一日 喜入校区社会福祉協議会及び喜入校区まちづくり協議会の役員合同二十二名で、鹿児島市南部清掃工場と鹿児島県歴史センター黎明館の視察研

修を実施

しました。

鹿児島市  
谷山港に  
新設され

た南部清

掃工場は

昨年十二

月に完成

し、今年

一月から

稼働した

家庭の生

ゴミ、草

や木等の  
燃えるゴミの処分場です。



施設の特徴として資源循環型社会脱炭素社会の推進に寄与し、安全で安定した処理システム高効率発電システムの採用バイオガスの都市ガス原料化です。

私達もゴミを出す時は、出来る限り少なく、そしてゴミの分別をしっかりと守るよう心掛けています。

掛けてい  
けたらと  
思います。  
それから

鹿児島市  
城山町の  
歴史セン

ターコレ明  
館を訪れ

ました。

郷土の歴  
史を再認

識という

ことで、  
農耕具・

名刀・石器・掛け軸・竹細工等色々展示

されており、今まで見たことのある物や

初めて目にする物に心打たれました。

二か所の施設を視察し、大変有意義な一日となりました。

設備に感動しました。



## 『空き家再生と子ども百貨店の取り組みを通して』



子育てサロンの年間行事で五月に開催しました。お下がり物を無料で提供するという取り組みを毎年行つて来ましたが毎回の回収

仕分け運搬作業はとても大変な作業でした。

この度空き家

を再生して常設することができます。

持ち込みにも施設利用料として三百円頂きますが、品物は無料で持ち帰る事が出来ます。

お茶を飲めるスペースもありますので地域の皆さんどなたでもご利用ください。善行寺駐車場に隣接している建物で毎日十時から十四時に開いています。

## 『介護講習を受けて』

旧市自治公民館で開催



鹿児島市社会福祉協議会からの依頼で八月二十七日に旧市自治公民館で、介護予防講習会を開催いたしました。

旧市の住民二十二名と

役員五名の参加で実施しました。

ビデオを見

ながら食事の与え方や介護補助の仕方など、介護者の負担を軽減する技術を学びました。コロナ禍の講習という

ことで、実技指導は出来ませんでしたが

これから介護を受ける側と、介護する側の両方の立場で、高齢化社会をどのように生き抜くかを考えさせる貴重な講習でした。前喜入校区コミュニティ協議会会长の勝目育男氏からご寄付を頂きました。これは、勝目氏が喜入校区で生を受け七十五年間お世話になった気持ちとして、「喜入校区の方々に対する社会福祉活動の更なる向上に活かして頂きたい」との思いからでした。校区社協では、多額のご寄付に感謝し、勝目氏の意を汲み更なる社会福祉活動の充実に努めしていく所存です。

## 『多額のご寄付に感謝』

(令和四年三月～令和四年九月)	
亡くなられた方	町内会
堀之内 フミエ	野元
堀之内 清幸	麓東
鶴田 篤志	堀之内 司
仮屋崎 智	堀田 正子
垂口 義治	堀田 ハル
仮屋崎 巖	鶴田 哲
南 イサ	鶴田 順
西原 廣	仮屋崎
上竪 フミエ	仮屋崎
川添 正照	仮屋崎
麓東	仮屋崎
渕田	仮屋崎
宮地	仮屋崎
南 勇雄	仮屋崎
西原 登喜	仮屋崎
上竪 末男	仮屋崎
川添 純子	仮屋崎

香典返しのご寄付  
有難うございました。



この喜入校区社協だよりは  
赤い羽根共同募金の助成  
を受けて発行しています。